心とからだいきいきキャンペーン 食育推進運動

優れた草の根実践

◆3◇

南部町教育委員会教育企画室／杉本由香里さん

「朝食必ず食べよう」啓発

南部町では昨年度、保・小・中の教職員と町教育委員会事務局により、南部町教育振興会を立ち上げ、その中に地域教育部会という専門部を設けて町内の子どもたちの情報交換をした「足」などといった状況があり、そういった生活リズムの乱れが、やはり学校での生活に影響を及ぼしてきています。

そこで、地域教育部会を中心に、「朝食」にスポットを当てて生活改善に取り組むことにしました。今年の三月には、町内の子どもたちの現状や朝食の重要性、朝食の簡単アイデアなどを満載したリーフレットを作成して、保護者へ配布しました。

それを就学時検診や学級・学年懇談会で使ったり、保健師と連携し、乳幼児健診等で説明したりしています。各種団体の会でも配布し、皆さんの協力を得るとともに、「朝食をきちんと食べる」ことへの機運を盛り上げているところです。

各保・小・中でも生活リズムに関しての約束・チェック、体力づくり、ゲストティーチャーによる授業、研修会など、それぞれが特色ある取り組みをしています。また、夏休みには栄養士や生活改善推進員さんの協力で「親子食育教室」を実施しました。それらを一つの活動と考え「朝食を必ず食べよう」キャンペーンと名付けています。

十月に実施した町内一斉朝食アンケートの結果でも、着実に成果は上がっているので、この賞をいただいたことを励みにして、さらに地域・家庭・関係機関と連携をして取り組んでいきたいと考えています。

町内の子どもたちの現状や朝食の重要性、朝食の簡単アイデアなどを掲載したリーフレット

日本海新聞　平成１８年１２月１０日（日）　掲載